

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2008年1～3月期)

第48回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成19年10～12月との比較）
 - （2）前年同期比（平成19年1～3月との比較）
 - （3）来期見通し（平成20年4～6月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	181社
回答率	36.2%
(業種別)	
製造業	66社
建設業	35社
卸売業	15社
小売業	28社
サービス業	37社
合計	181社

(2) 実施時期

平成20年1～3月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

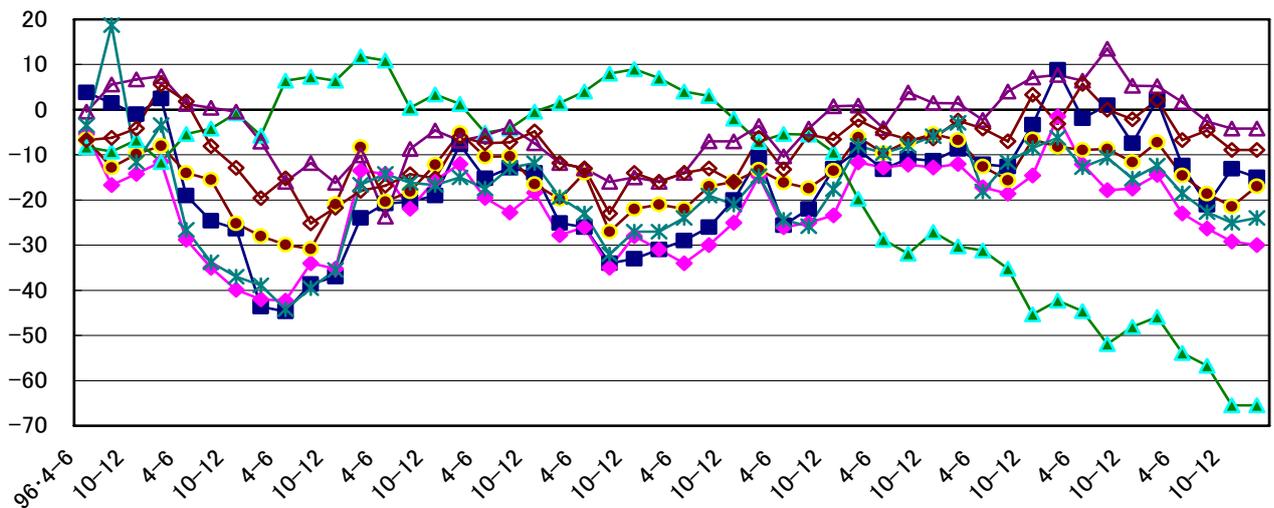
2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

- 売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
- 採算D I = (好転 ") - (悪化 ")
- 資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")
- 仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")
- 雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")
- 設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")
- 業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D I の推移)

	05/7-9	10-12	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3
■ 売上	-12.6	-3.3	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3
◆ 採算	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1
● 資金繰り	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9
▲ 仕入価格	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1
△ 雇用状況	4.0	7.1	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8
◇ 設備投資	-7.0	3.3	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3
* 業況	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0

3. 概況

「原材料の高騰響き、全業種で業況改善見込めず」

(1) 今期の特徴

今期のD I 値は、前回調査より前年同期比で「売上」、「採算」、「仕入価格」、「設備投資」が悪化となり、前期比で「売上」、「採算」、「仕入価格」、「業況」が悪化となった。業種別では、サービス業で、観光関連等の好調で前年同期比「売上」がプラスとなったが、全業種で原油・原材料の高騰による仕入価格の上昇、更に販売価格への転嫁が出来ず利益を圧迫し、採算面が特に悪化する状況となっている。特に建設業では、年度末の需要期であったものの、公共工事の一般競争入札制度導入等による受注競争激化で厳しい業況となっている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、ほとんどの項目でマイナス値となり、厳しい数値となった。

業種別では、建設業で新年度の公共工事減と受注競争の激化、卸売業では一部需要期であるものの、消費の低迷で「売上」、「採算」のマイナス値の悪化が大きい。さらに依然として原油価格の高騰による「仕入価格」のD I が全業種で大きなマイナス値を示し、先行きは不透明な状況となっている。

(3) 経営上の問題点

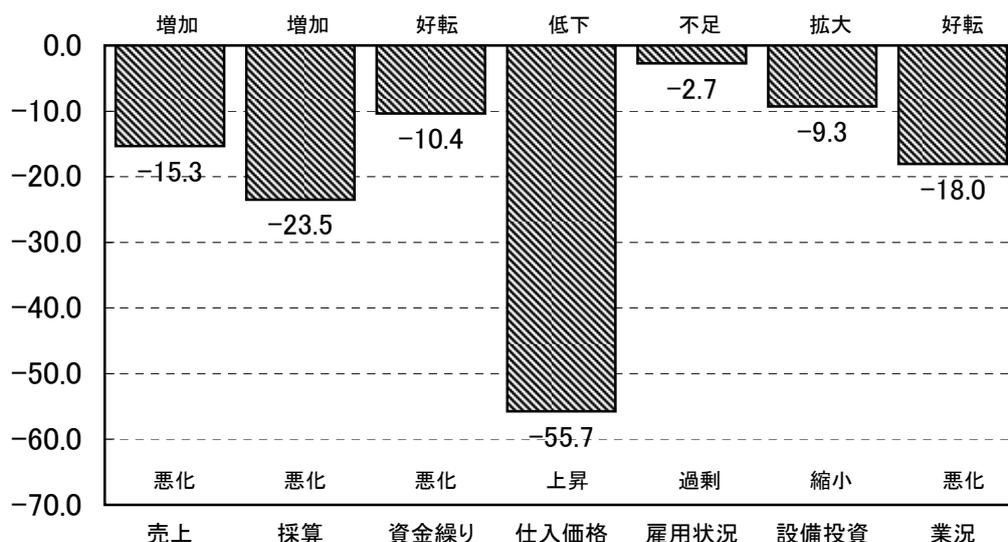
今回は上位順位に変動はなく、1 位に「需要の停滞」、2 位に「原材料価格の上昇」、3 位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続いた。

(4) 今後の対応策

今回は1 位と2 位の順位変動はなく、1 位に「その他合理化を実施したい」、2 位に「新規市場を開拓したい」となり、新たに「人件費を削減したい」が3 位と続いた。

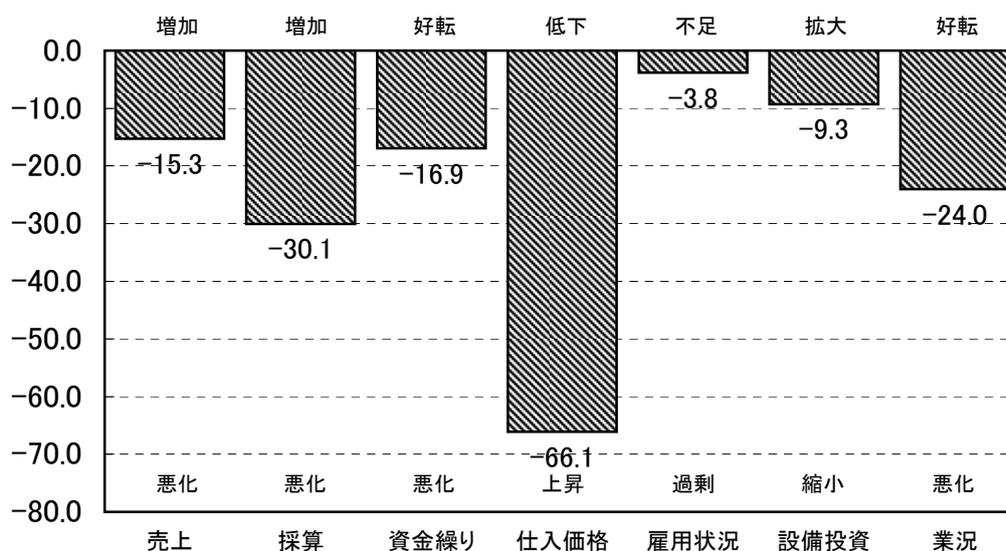
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成19年10～12月比)



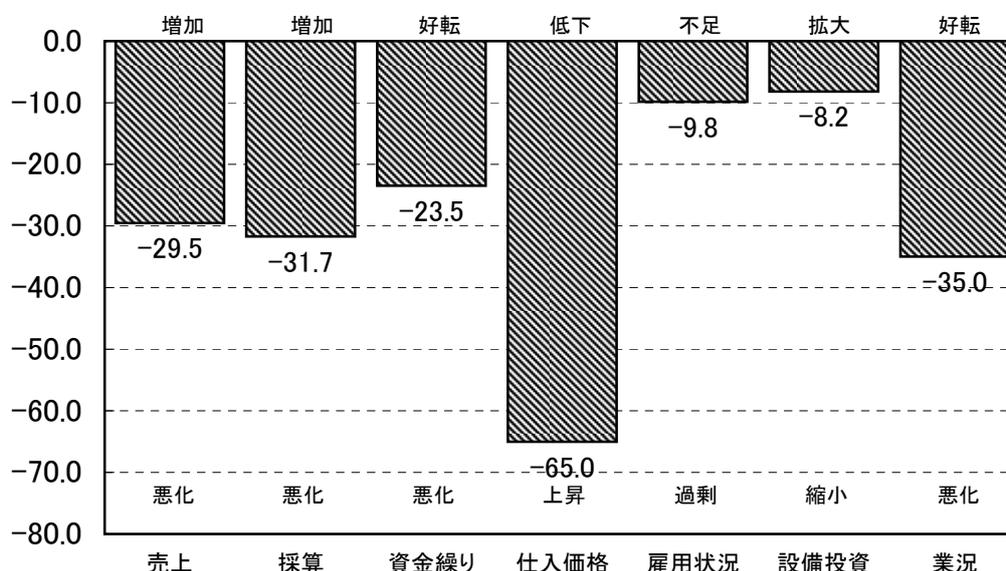
全体的にDI値はマイナスとなっている。年度末需要がある建設業でもマイナスとなり、全業種において原材料の断続的な高騰に伴う仕入価格の上昇で採算を圧迫し、業況は厳しい状況となっている。

前年同期比(平成19年1～3月比)



サービス業の観光関連の一部では好調であったものの、製造・建設業では需要期ながら公共工事の減少、卸・小売業でも消費低迷による業況悪化となり、全業種で原材料の高騰に伴う経費の大幅な増加でDI値はマイナスとなっている。

来期見通し(平成20年4～6月見通し)

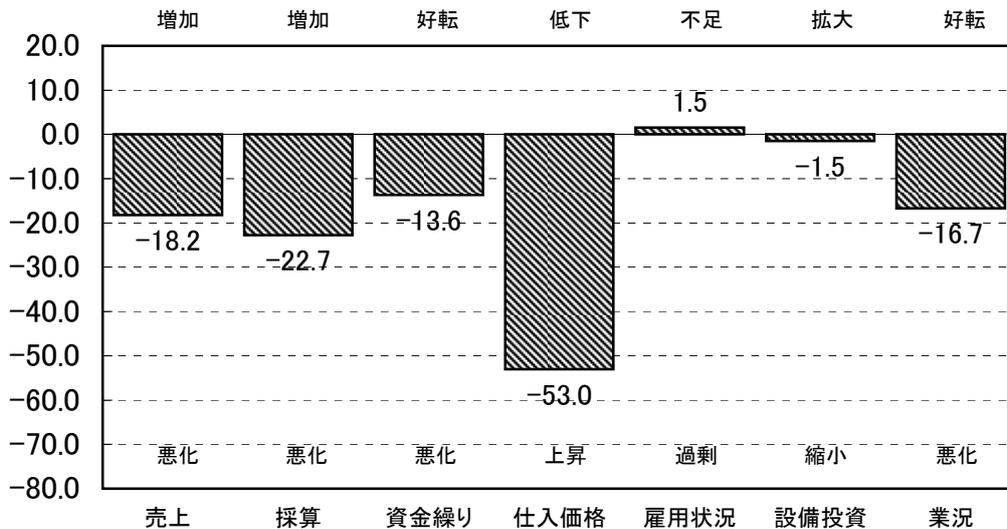


来期の見通しについては、原材料の高騰に伴う仕入価格の上昇、物価上昇に伴う消費マインドの低下による売上・採算の悪化が懸念され、業況好転の兆しがなく、依然として厳しい見通しとなっている。

5. 業種別の景気動向

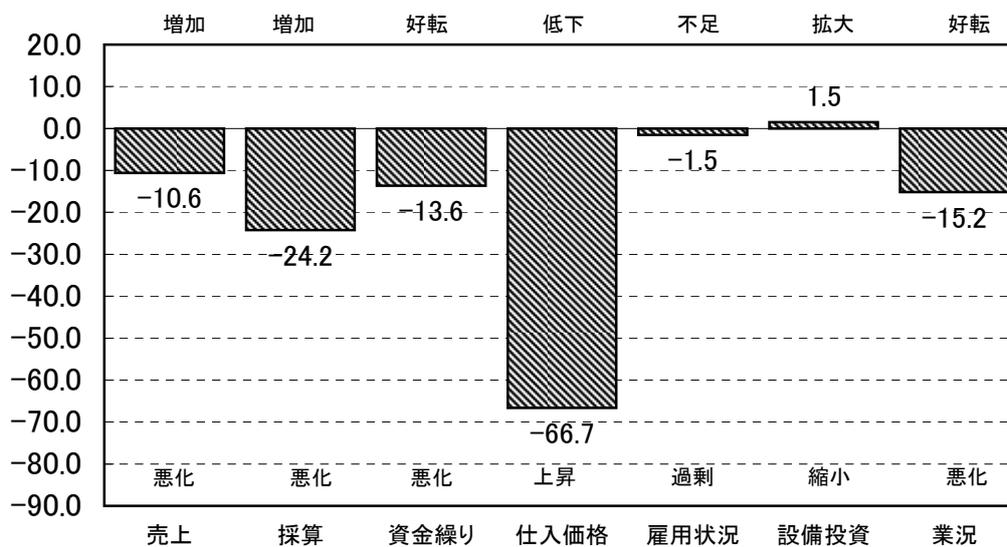
(1) 製造業

前期比(平成19年10～12月比)



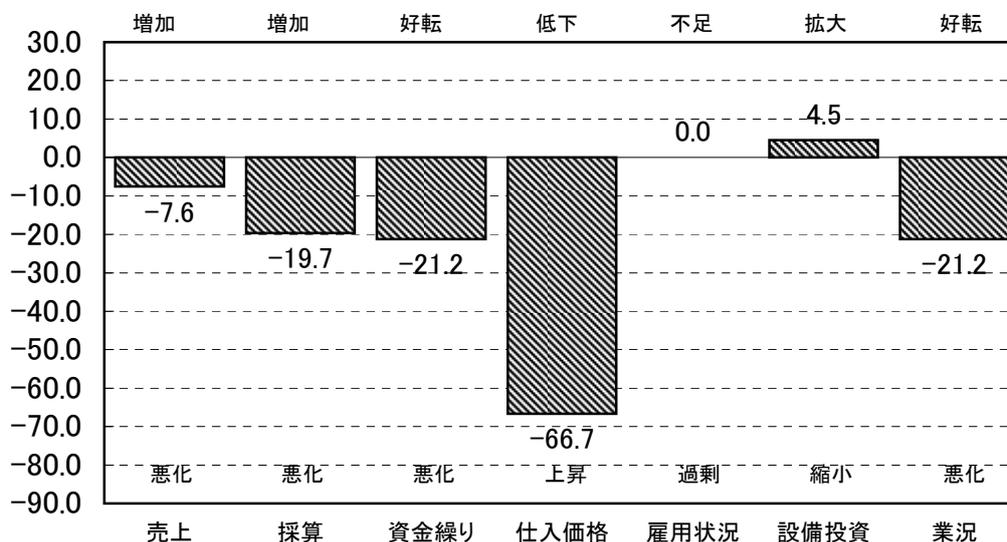
一部で「自動車部品、携帯電話部品が好調」（電子部品）、「年度末需要による増収増益の見込み」（鉄工業）の声があるものの、公共工事の減少、原材料高騰による利益圧迫で「売上」・「採算」・「仕入価格」・「業況」で前期比DI値は悪化となった。

前年同期比(平成19年1～3月比)



「住宅着工戸数の減少」（製材業）、「材料値上り」（木材加工、印刷、金属製品製造業）、「公共事業の減少」（鋼材加工、コンクリート）、「中国餃子事件後の販売減」（食品製造）等の影響で前回調査と比較して「売上」・「採算」・「業況」のDI値は悪化となった。

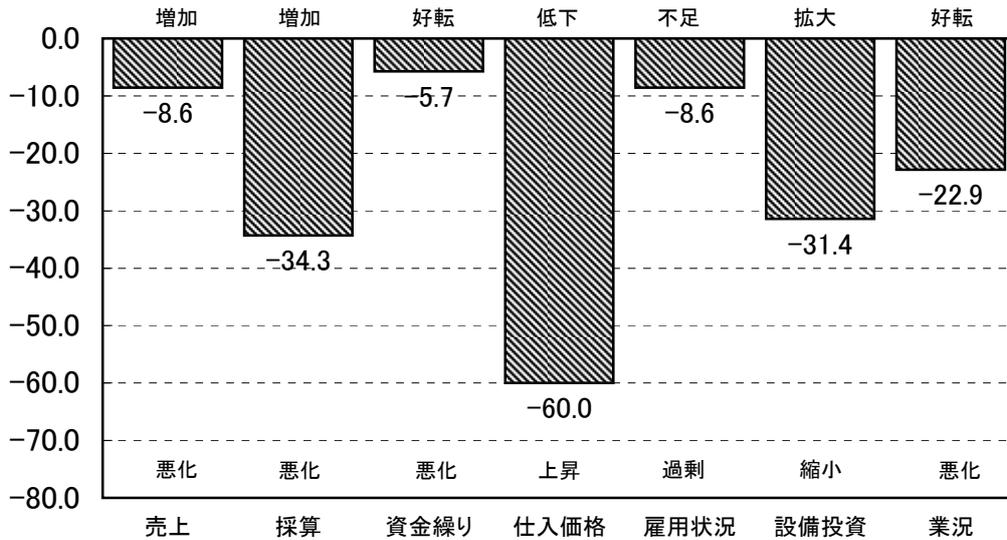
来期見通し(平成20年4～6月見通し)



「工場の稼働が進む」（清涼飲料水）、「新製品の量産が軌道に乗る」（事務機）などの声があるものの、原材料の高騰が進む中、販売価格に転嫁出来ず利益率の圧迫が懸念され、業況は厳しい見通しとなっている。

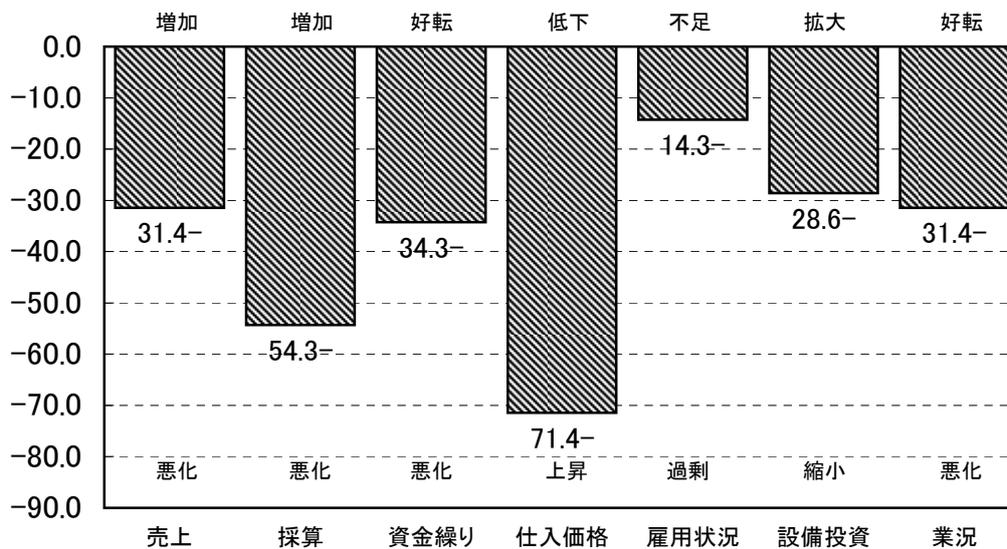
(2) 建設業

前期比(平成19年10~12月比)



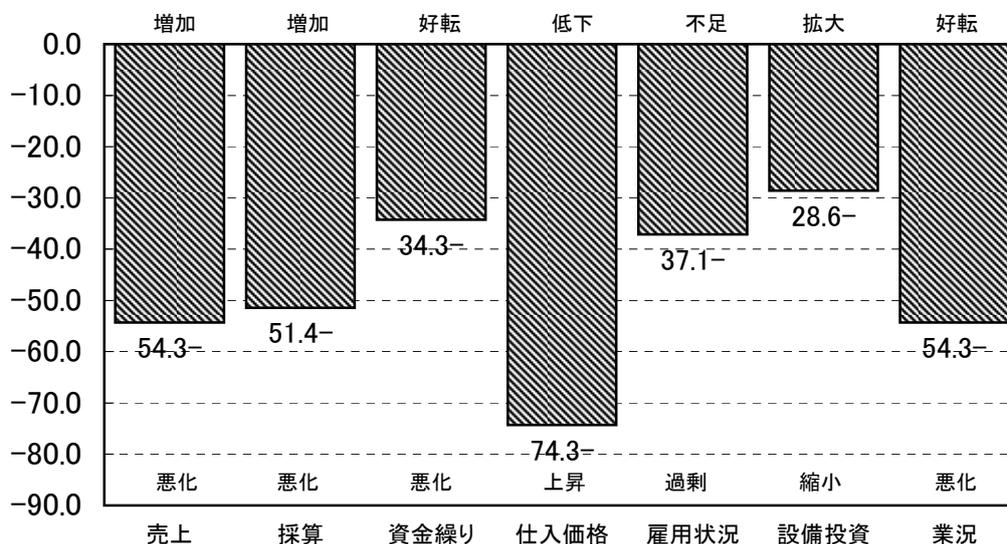
年度末需要の時期で、前回調査と比較してマイナス幅は縮小したものの、公共工事の減少と落札率低下、民間工事の受注単価の下落、更には資材など原材料の高騰により依然厳しい経営環境がうかがえる。

前年同期比(平成19年1~3月比)



前回調査と比較すると売上・業況のDI値はマイナス幅は縮小されたが、指名競争入札制度から一般競争入札制度の導入で受注件数・単価ともに依然として厳しくなっている。更に原油価格と材料の高騰で利益を維持する事が、困難な状況となっている模様である。

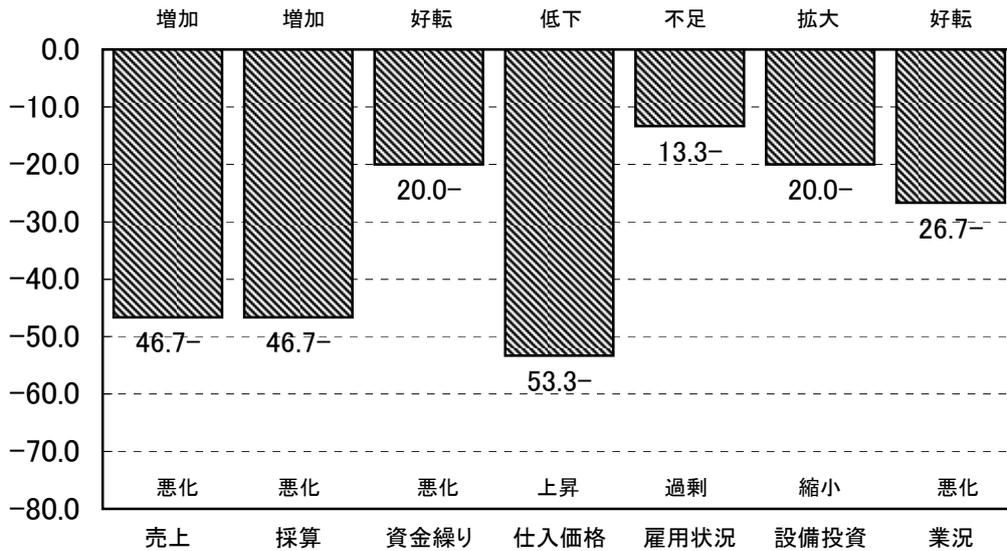
来期見通し(平成20年4~6月見通し)



新年度の公共工事も減少が予想され、民間工事についても受注競争の激化は進展し見通しも暗い状況にある。原材料価格の更なる高騰が利益率を圧迫することが懸念され、来期見通しは厳しい状況である。

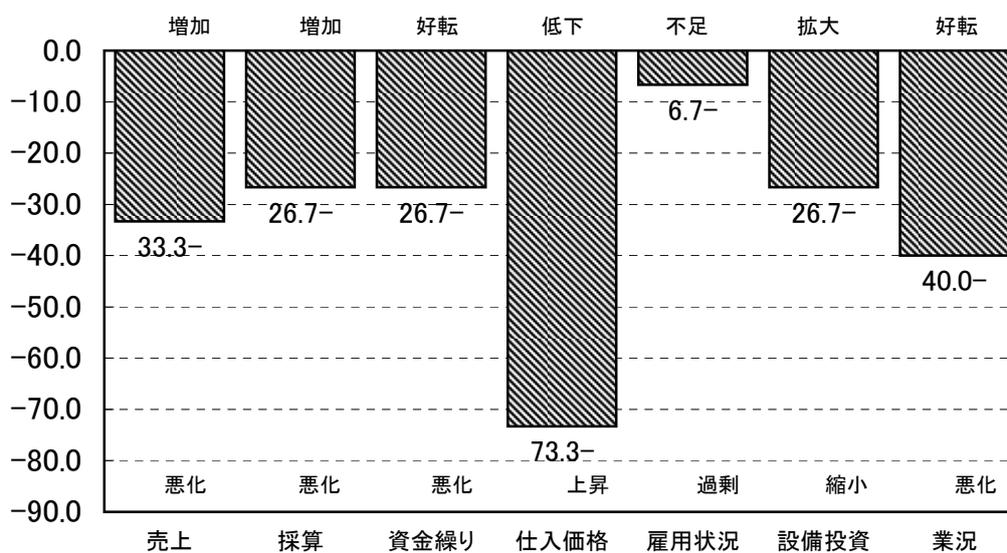
(3) 卸売業

前期比(平成19年10~12月比)



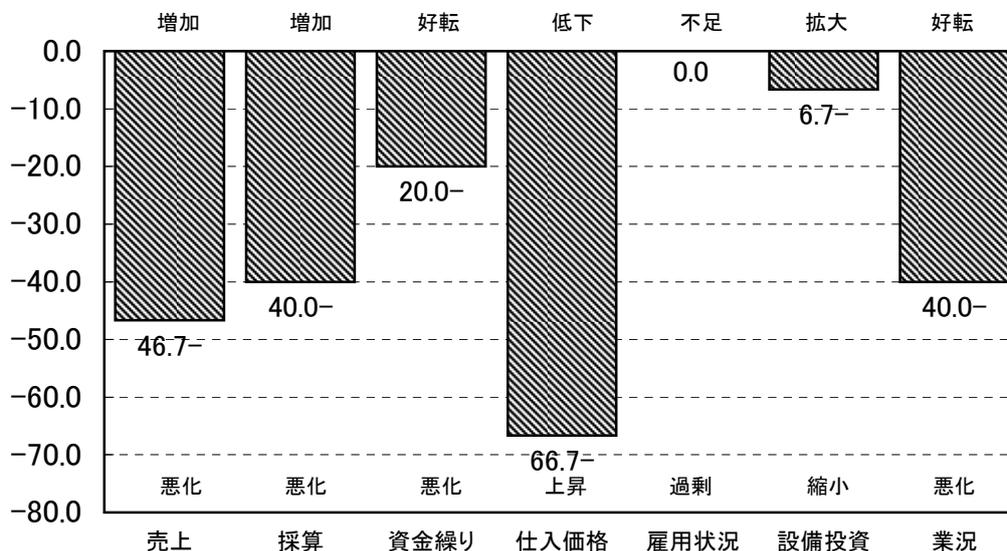
前回調査では、「売上」・「採算」・「業況」はプラスであったが、今期のDI値は大幅マイナスに転じた。年末需要の翌期でもあり「季節的なもの」(業務用食料品、資材、紙文具)という季節的要因に加え仕入価格の上昇で売上・採算共に悪化となった。

前年同期比(平成19年1~3月比)



仕入価格の上昇が採算を圧迫し、更に物価上昇にともなう消費マインドの低下で、需要が低迷してる。更に官公庁関連の引き合い・受注も減少している影響でDI値は悪化となっている。

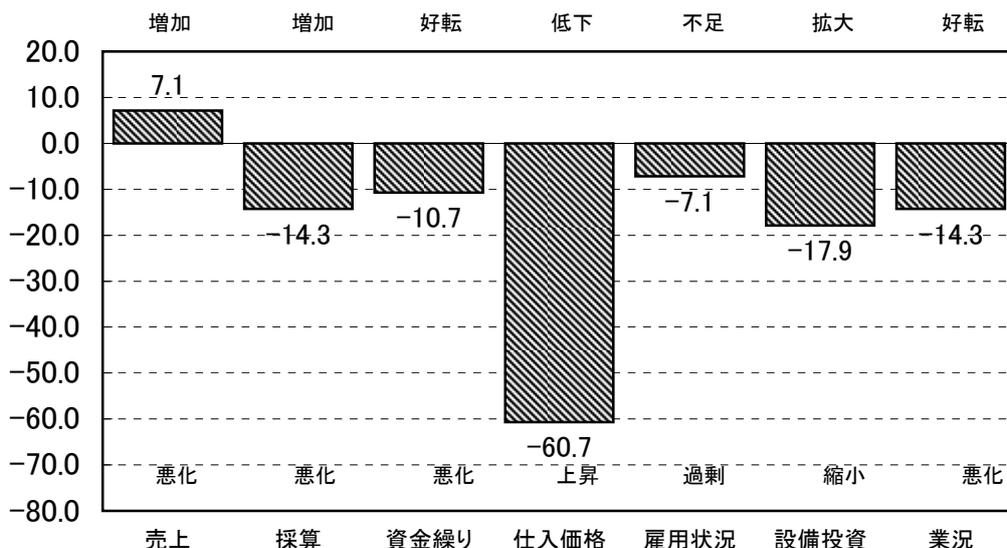
来期見通し(平成20年4~6月見通し)



「需要期である」(紙文具)との声はあるものの、原油高及び仕入価格の上昇による経費負担増の影響で採算悪化が懸念され、業況は厳しい見通しとなっている。

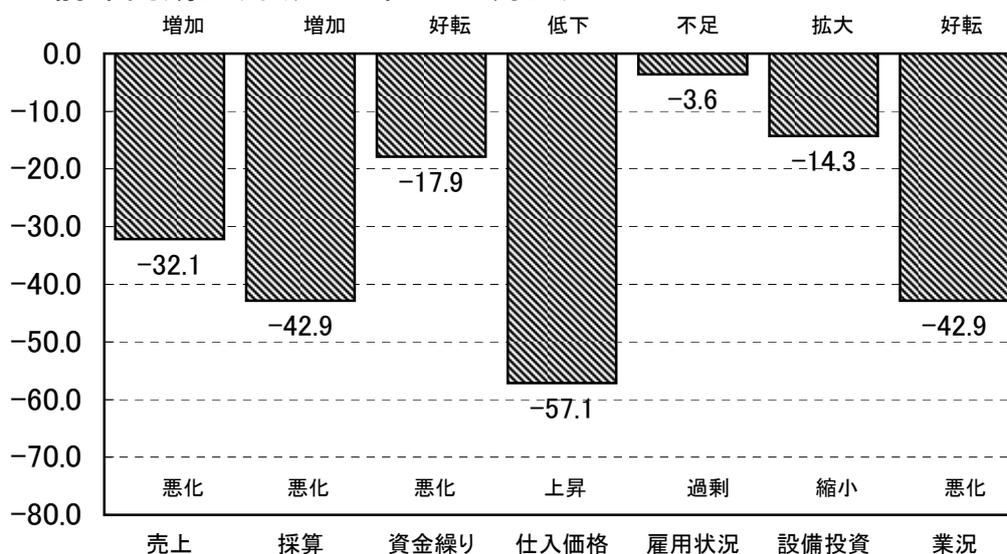
(4) 小売業

前期比(平成19年10~12月比)



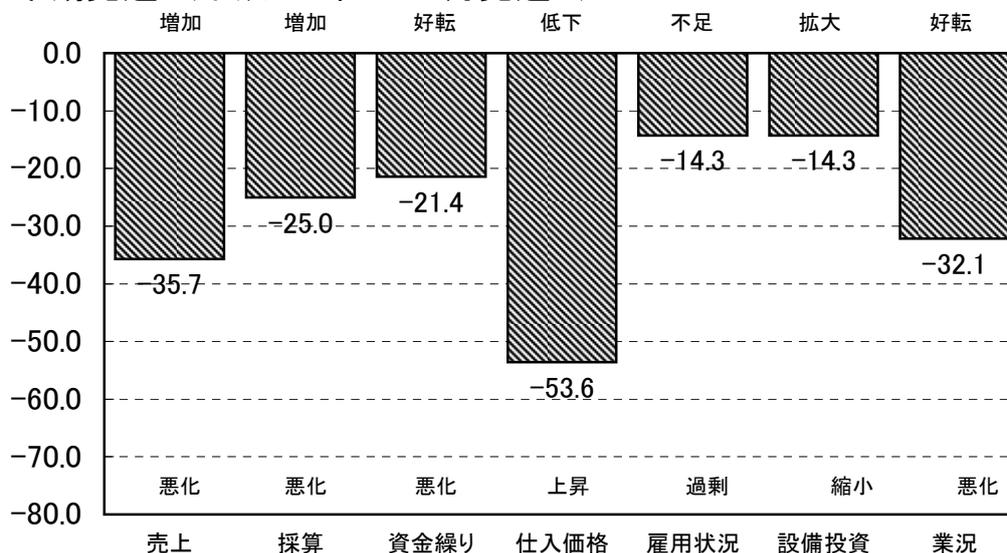
年度末の需要期で売上D I値はプラスとなった。しかしながら、原材料の急激な高騰で仕入原価が値上がりしており、販売価格の転嫁が出来ず採算D I値はマイナスとなった。

前年同期比(平成19年1~3月比)



前回調査よりD I値は大幅悪化となった。燃料、原油価格高騰による仕入れ価格の上昇とそれに伴う販売価格への転嫁がうまく出来ず、更に消費の低迷による売上減の影響で利益の確保が難しい状況で、D I値はマイナスとなり厳しい経営環境となっている模様である。

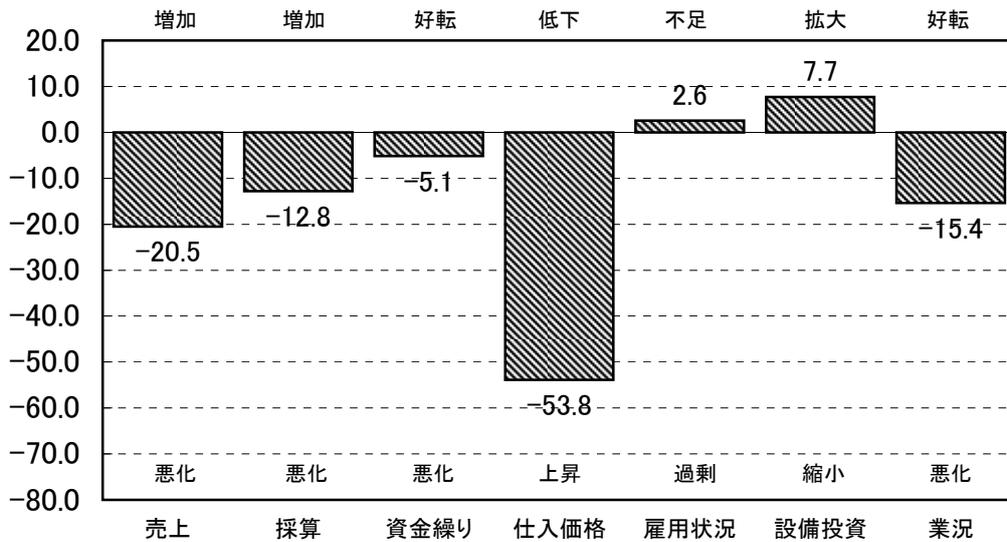
来期見通し(平成20年4~6月見通し)



行事の多い時期であり「催事などを取り入れていく」という声はあるものの、「原油の高騰」、「物価上昇」、「医療費負担の増大」など消費購買意欲の低下要素が多く、前回調査よりD I値は大幅悪化となり先行きは厳しい見通しである。

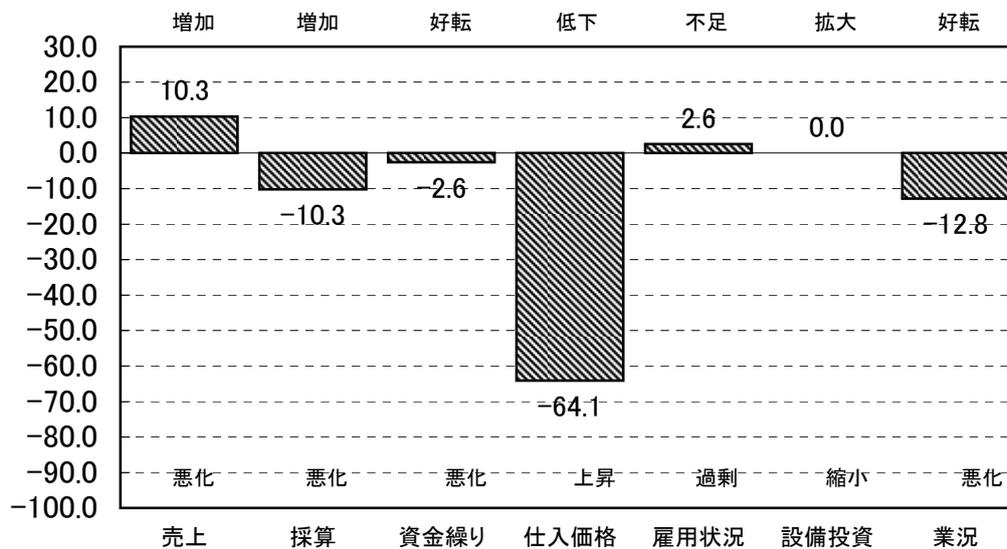
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成19年10~12月比)



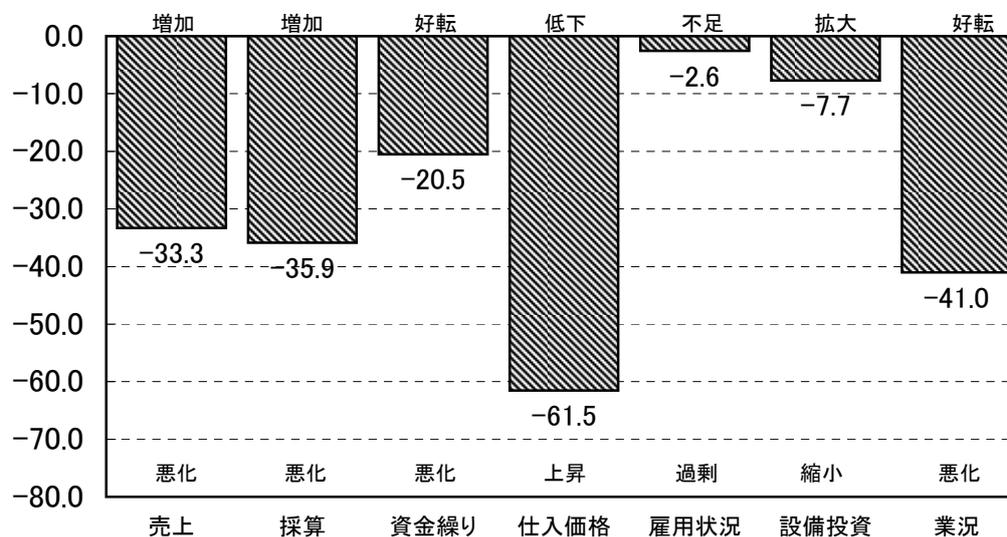
前回調査と比較すると売上・採算・業況DI値はマイナスに転じた。年末需要からの反動に加え、運送関連では、燃料費の継続的な高騰に伴う経費負担の増大で収益を圧迫している。広告関連等では、取引先の広告費縮小と競争激化で厳しい状況となっている。

前年同期比(平成20年1~3月比)



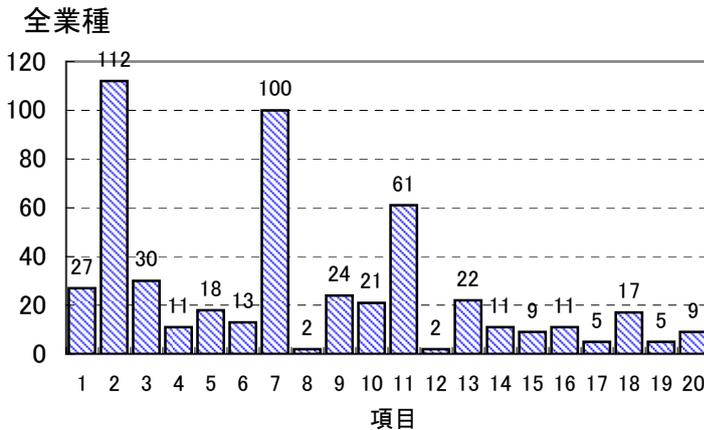
「合宿等の団体客」(ホテル)、「商品価格のアップ」(レストラン)などの声もあり売上DI値はプラスであるものの原油高騰の影響による経費増加で業況DI値はマイナスとなった。

来期見通し(平成20年4~6月見通し)



「年間を通じて繁忙期になる」(クリーニング)という声もあるが、燃料、原材料の値上げにともなう物価の上昇等により消費マインドの低迷で客単価が減少し、売上・採算共に厳しくなることが予想され、前回調査よりもDI値は、更にマイナスとなっている。

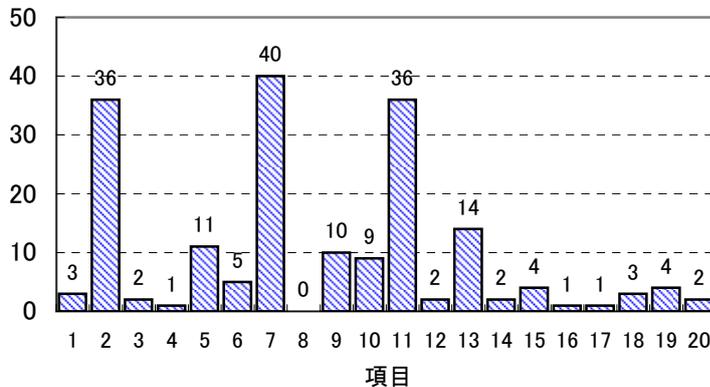
6. 経営上の問題点



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

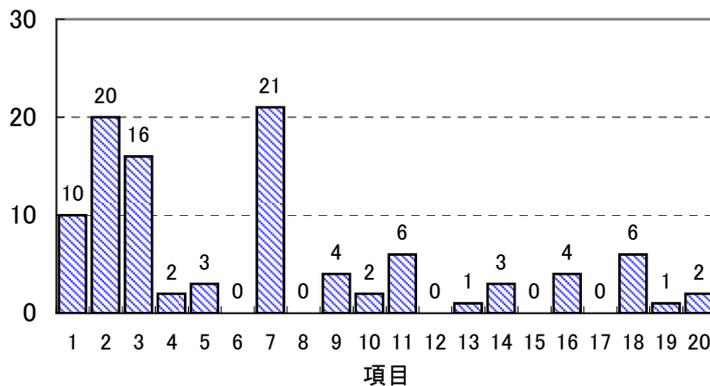
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



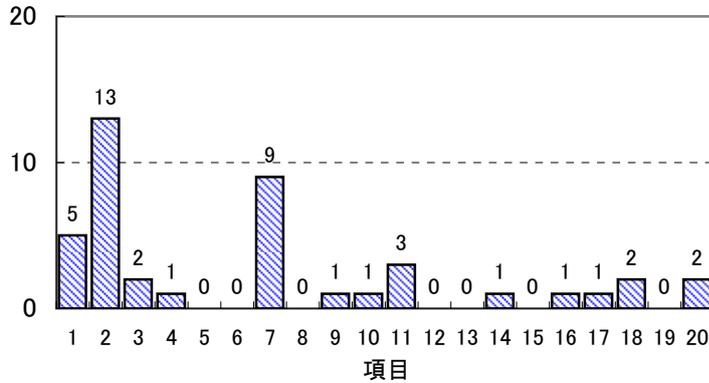
順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

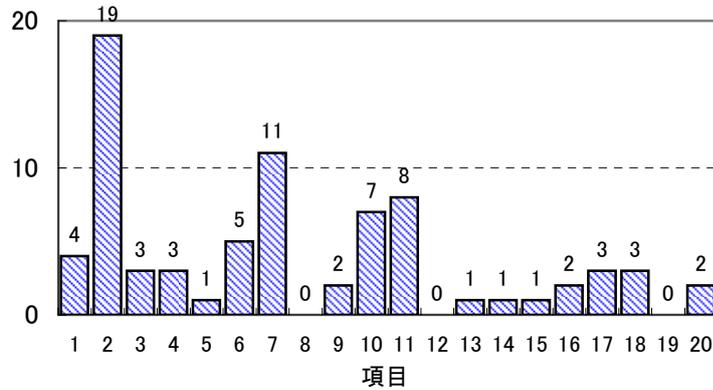
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

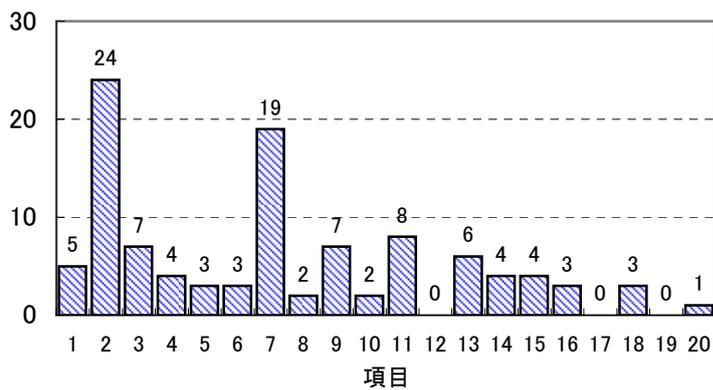
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 人件費の増加
- 5位 製品ニーズの変化

サービス業



順位

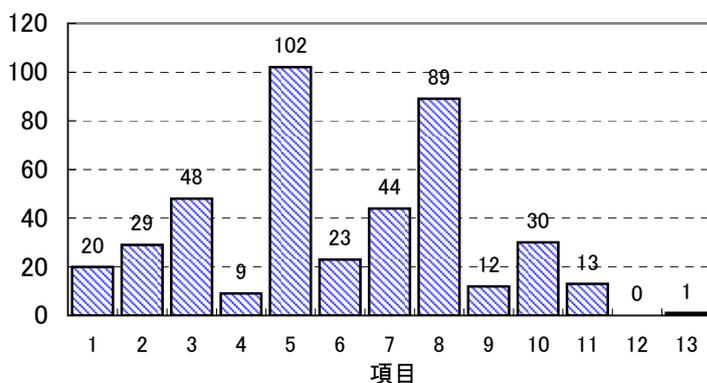
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

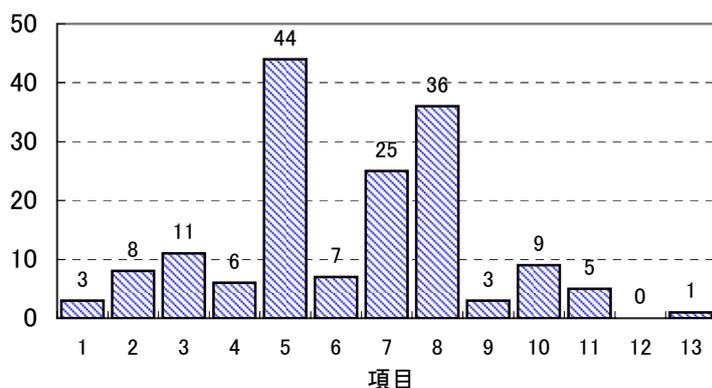
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

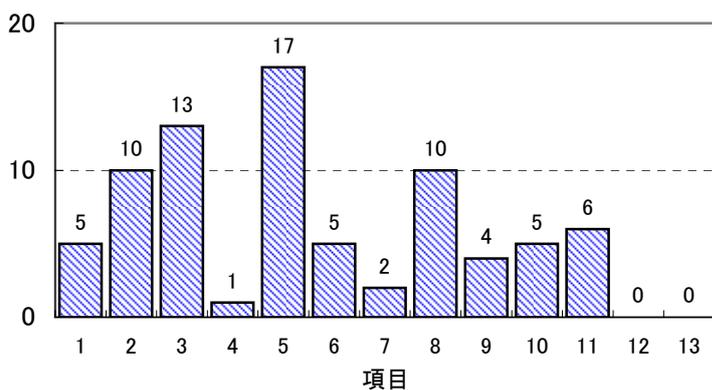
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



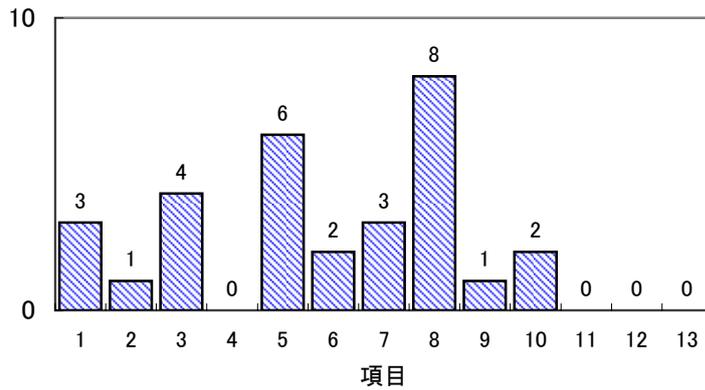
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 新規市場を開拓したい
- 5位 下請け発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

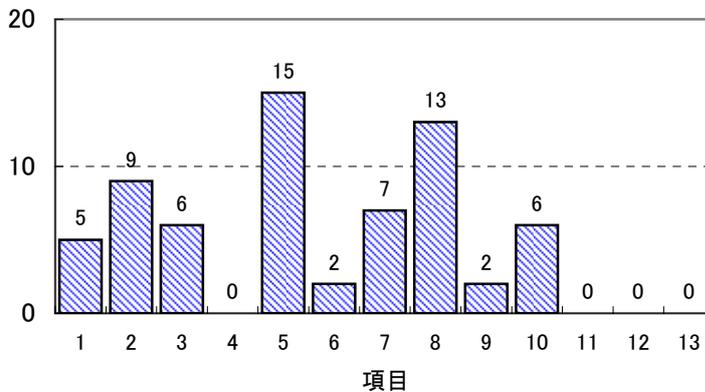
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

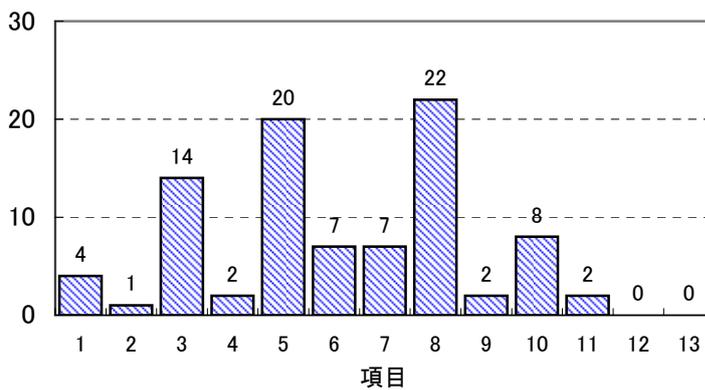
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 設備投資を縮小したい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	醤油・味噌製造販売	都城	原料の価格の上昇がひどい。特に大豆、小麦、油、それにペット用品が特に値上がりで、更に業界が量販店との斬棘が強く、値上げ幅の上乗せが難しい
製造業	製材業	都城	公共工事(建築)を増やしてほしい
製造業	段ボール製造販売	都城	自社の営業を通して気づく事なんです、青果物を育てておられる生産者の数が年々減少しており、当然わが社の商品もこれに比例して需要も減っていくのですが、これは生産者の高齢化と後継者不足が原因で、今から中国輸入のバッシングで国内の自給率を上げていくチャンスでもあるので、国をふくめ、まずは地場からこういう後継者育成の場をつくってもらいたいです
製造業	アルミ製品製造業	都城	過去何度も要望事項を記しても対策が見えてこない。行政に望むことなど、甘い考えを持つことや期待することダメと認識するのが今一番大事
製造業	印刷全般	都城	大規模小売店舗立地法等の再考をしていただきたい
製造業	都市ガス製造供給販売	宮崎	エネルギーの安定的な確保という観点から、ファンダメンタルズとして国がLNG、他の安定確保に渡った外交的なイニシアティブを発揮して欲しい。
製造業	印刷業	宮崎	観光面においてかなり上向きになっているが、中小企業に対する施策を増やして欲しい
製造業	IC製造業	宮崎	大阪府のように財政状況を踏まえ、人件費のカットを行い、民間企業の税負担軽減に結びつける努力をしてほしい
製造業	輸送機器製造業	宮崎	政局の安定化により、諸施策実行のスピードupをお願いしたい。
製造業	塗装業	延岡	①高速道路の早期完成を願う②高齢者医療費の見直し(高齢者が可哀相)
製造業	プラスチック金型製造修理	延岡	機械の稼働率が落ちている時は、人材育成等の研修を推進したいので、短時間で受講可能な研修などを増やして頂きたい。
製造業	印刷業	日向	固定資産税の税率を下げたい(資産効率が低下しているため相対的に税率が高くなっている。)4009
製造業	タイヤコード製造1	日向	延岡～日向産業道路化推進※土々呂バイパスの無料化(交通渋滞が慢性化ガソリンの無駄な消費)4048
製造業	金属加工業	日南	特にありません。
製造業	コンクリート製品	日南	地元(県南地区)の需要が大幅に減少しているため人員の削減を行なった。生産のウェットを他の工場(宮崎・都城・延岡)へ移し減産体制へ移行した。
製造業	各種印刷	小林	長期的・未来を見すえた計画・対策を考えてほしい。
製造業	焼酎製造販売	串間	不転の覚悟で全役員頑張っていく
建設業	建築工事業	宮崎	1. 中小企業の経営環境を整備し、自主的発展を促すため、中小企業の法人税率を大幅に軽減すること。2. 交際費は企業経営上必要な経費であり、企業活性化を図るためにも損金不算入制度を緩和すべき。
建設業	建築設計監理	宮崎	設計委託業務の発注方法を再検討していただきたい。現行の入札制度は価額競争のため、低入札が続出し品質低下の懸念を抱く。創造性を発揮し、倫理観をもって高度な業務を行うために、当該業態に適応した設計事務所による簡易プロポーザル方式が望ましい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	建設業の不況がいつまで続くか先が見えない。道路財源の行方も気になるどころだが、設備を更新して安定生産をするという決断は、難しい。経営課題だ。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	国・県の赤字行政では望んでも対策が出ない

建設業	家具製造 内装工事	宮崎	建設業及びそれに関連する業者に「別の仕事したらどうか」とう話を伺うことがありましたが、これからの建設、製造業が消されていくような気がします。役所は自分の身に置換えて考えているのでしょうか？
建設業	建設業	延岡	建設業の実情にあった、制度を構築してほしい。
建設業	建築塗装	日向	信頼できる国家を作って欲しい。4079
建設業	電気工事業	高鍋	少人数で営む建設業が今後、公共事業の受注がますます難しい時代がやってくる。いつまでも事業の経営をする事に対し、廃業する時期を考える時代なのではないでしょうか。
建設業	鉄骨建築業	高鍋	早急に、宮崎県での建築確認の出来るシステムにしてもらいたい。建築確認改正による構造計算ソフトの開発。
建設業	土木建設	日南	公共工事の早期発注を望む
建設業	土木建設	小林	現在の競争入札の最低制限が80%であるが、85%~90%に引き上げられないと県内の建設業は困難である。
卸売業	健康食品輸入販売	宮崎	想像以上に家計に与える影響が昨今の政策では多くあり、消費に対する不安が感じられる。心理的要素も多く出るようであるので、政府の国内消費に対する積極的な施策を打ち出して欲しい。
卸売業	塗料販売	宮崎	土建業界の適正な入札価格の実現化
卸売業	建設資材販売施工	延岡	物価上昇対策(ガソリンetc)
卸売業	椎茸卸	日向	地域経済が著しく衰退しているので、民間活力が出るような支援策が必要である4018
卸売業	建築資材卸	日南	入札制度(現在の)を何とかしてもらいたい。
卸売業	青果卸	日南	建設業の受注減少や年金控除問題等で、消費者の全体的な購買力が鈍化、活性化がみられない。国・県との意見討論会の場を地方にも設けてほしい。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	燃料の高騰に伴う輸送業者の経営難及び予算削減による建設業界への打撃等々で景気の上昇は望めない。今期が正念場と考えられる。
小売業	総合小売業	宮崎	小麦など原材料の高騰で、原油高対策を政府に要請をお願いします。
小売業	総合食料品スーパー	日向	地元の中小企業に対しての支援対策を考えて欲しい。今のような状態では大企業のみとなり地元を支えた中小企業は無くなり町そのものも疲弊する。4002
小売業	百貨店	日南	緩やかな回復からほぼ全産業に亘り景況は下降という状況になってきている。公共工事の減少や、年金問題から来る将来の危機感が消費の低下を招いている。行政は今までの慣習を見直し、民間の感覚での無駄を省き将来に向けた投資を行なって欲しい。
小売業	事務機、事務用品販売	小林	国県行政関係民間が活性化できるよう予算関係をうまく投資して頂き。
サービス業	貨物運送業	都城	原油価格が世界的に高騰しているので、国として早く負担軽減する対策とってもらいたい
サービス業	不動産鑑定評価業務	宮崎	国レベル・地方レベルの経済活動は、生産・消費そしてサービスの全部もんで急激に縮小していくし、生産財の資源入手価格の急上昇は、営業収益の低下をもたらしはじめた。今後は、中期的に身の丈に合った経営をしていかなければ、生き残れないと思う。
サービス業	ホテル	宮崎	4月に入り急激に収益悪化(利用者減)。景気浮揚策の実施。
サービス業	料理仕出し業	宮崎	同じ水商売ながらトップ交代により小料理居酒屋は大変上向きと聞いているけど、自社のような料理業の営業は非常に厳しいようだ。いわゆる官庁の利用が少ないの要因と思う。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	法人が負担する地方税や社会保障額が高すぎて、経営を圧迫しています。また、追い討ちで原油高によるコスト増！このような状況で装置産業は、経営が成り立たないと思います。

サービス業	曳船事業ポートサービス	宮崎	誠司の停滞による不況(暫定税率、建築基準法の改正等)
サービス業	旅館業	延岡	これから、延岡駅周辺に新規チェーンホテルが続々と事業展開していくと聞いている。延岡市場は、需要に限られているので、競争が激化し、いくつかの宿泊施設が、廃業に追い込まれそうである。宮崎市内ばかりにかたよっている観光等による流入人口を増やす為に、延岡駅周辺の再開発を急ぎ、延岡の観光資源を活かしたまちづくりを展開すべきだ。
サービス業	クリーニング業	延岡	原油価格の上昇(石油製品)を、どうにかしてもらいたい。需要が低下している中、値上をするのも不安があり、懸命に自社努力をしている。
サービス業	飲食業	日向	公共事業の減少によって各業界の人達が私達飲食業を会社で使わなくなって来ており、特に建設業などは仕事を取ったら赤字になると言う事を聞いており、これでは益々私達の業界は下降線をたどっていきます。どうか正常な入札制度が出来る事を期待します。4028
サービス業	レストラン	高鍋	食の安全安心が今日程強く叫ばれている時代はありません。地方の企業程(小さい)一生懸命努力してお客様の為に頑張っています。輸入業者(特に食品に関して)はもっと厳しい姿勢で国及び行政は対応してほしいものです。罰則の強化も含めて
サービス業	ホテル	日南	県知事のトップセールスにより、全国へ宮崎を発信し続けて宮崎市内には経済効果が出ているようだが、日南市まではあまり効果が出ていない。各市町村もこの波に乗って観光客の勧誘をしてほしい。
サービス業	警備	日南	公共工事の増加など建設業界を活性化させてほしい。
サービス業	タクシー業	小林	地方は都市部に遅れ(1~2年遅れ)て景気が良くなると云われて来たが、今は地方は良くなならないうちに再び景気が悪くなる下降一途のスパイラル状態である。
サービス業	温泉浴場	串間	田舎は車社会、ガソリンが上がると温泉や行楽に出る回数が減り、消費がますます悪化する。暫定税率は廃止し消費税も上げず、公の無駄遣いを見直すでき。まさに人のお金は使い易いから痛みがないから使うのでは困ります